

## 平成14年度事業報告

### 第1 事業活動

#### 1 組織の強化と地域活動の推進

##### (1) 組織の強化

###### ア 都道府県協会

組織の基盤である都道府県協会の充実拡充を期して、各都道府県協会とも加盟会員獲得のための諸活動を積極的に進め、一部の県協会においては若干の加盟会員の増加を見たものの、全国的には所期の成果を挙げるまでには至らなかった。

ちなみに、平成14年度の都道府県協会加盟会員数は836で、前年度の874に比べ38の減少となっている。

###### イ 賛助会員

平成14年度の賛助会員数は72で前年度の77に比べ5の減少となっている。

##### (2) 地域活動

###### ア 地区協議会

地域活動の中核として、従業員の資質向上を目指しての店舗管理者研修、地域社会との相互理解と信頼関係を深めることを目的とした地域懇談会等の事業を積極的に推進するとともに、都道府県協会の組織の強化、健全営業の推進等について協議し、さらには、地域社会への奉仕活動その他の地域的な諸活動について府県協会を支援するなど地域活動の円滑な推進に努めた。

###### イ 都道府県協会

健全営業の推進に努めるとともに、それぞれの実情に応じて都道府県警察、防犯協会、環境浄化協会、少年補導センター、学校、PTAその他の青少年の健全育成に携わる関係機関・団体等との連携を強化し、地域における青少年の非行防止及び健全育成のための諸活動をはじめ、防犯活動その他の各種の地域活動に積極的に参加するなど、地域社会との連携と共生を目指しての諸活動を積極的に推進した。

#### 2 全国大会

例年開催している全国大会を、本年度は11月6日山梨県(石和町)において開催し、地区協議会長、都道府県協会会長、都道府県協会加盟会員等が一堂に会して組織の結束を固めるとともに、当面の最重要課題である財政基盤の整備のための会費の改定問題等について協議した。

#### 3 健全化事業

##### (1) AOUステッカーを「AOU会員証」に

ＡＯＵステッカーを、ＡＯＵの「会員証」としてすべての加盟会員の営業所に誇りを持って掲示して非会員営業所との識別をより明確にするとともに、ＡＯＵ会員の営業所であること及び健全性を関係機関・団体をはじめ広く地域社会にアピールして、会員の連帯感とＡＯＵの存在感をより高める活動を昨年度に引き続き積極的に推進した。

#### (2) 啓蒙ポスターの作成

最も身近で健全なレジャー施設としてのＡＯＵ会員営業所をアピールするとともに、ＡＯＵ及びＡＯＵの活動について理解を深めるための啓蒙ポスター１万枚を作成して会員に配布するとともに、関係機関・団体等にも配布して周知に努めた。

#### (3) 全国青少年健全育成強調月間への協賛

内閣府（政策統括官）が中心になって毎年展開している「青少年の非行問題に取り組む全国強調月間」（７月）に、協賛団体として全面的に協力し、同府が作成した啓蒙ポスターを都道府県協会に配布するなどした。

#### (4) 健全営業模範優良店の表彰

全国大会全体会議の場で、健全営業模範優良店６９店を表彰した。

### 4 広報啓発事業

#### (1) 地域懇談会

ＡＯＵと地区協議会の主催による地域懇談会を北海道（札幌）、関東（埼玉）、中国（岡山）の各地区協議会でそれぞれ開催した。

地域懇談会には、学校、警察、補導センター、ＰＴＡ等の青少年の健全育成に携わる機関・団体の関係者を招聘し、業界に対する率直な御意見、御要望等をお聞かせいただくとともに、少年の非行防止や営業の健全化に向けてのＡＯＵの取り組み姿勢、具体的な施策等を説明してＡＯＵ活動に対する理解を求める努力をした。

出席した関係者からは、ＡＯＵの健全化に向けての組織的な取り組み姿勢及び具体的な活動、あるいは個々の営業所における取り組み等について高い評価をいただくとともに、今後ともこの種の交流の機会を継続することによって関係機関、団体等との連携を強化し、より一層健全な営業を続けてほしいとの要望が一様に寄せられた。

#### (2) 機関誌「ＡＯＵニュース」

機関誌「ＡＯＵニュース」を毎月３０００部発行し、会員及び関係機関、団体等に配布した。

「ＡＯＵニュース」では、ＡＯＵ及び各地区協議会、都道府県協会の活動状況をはじめ、業界に関係する当面の問題や関心事を重点的に取り上げるとともに、より読みやすく魅力的な紙面作りに努めた。

#### (3) 「ＡＯＵニュース」ホームページ版

機関誌の発行と併せてホームページ上にも「ＡＯＵニュースホームページ版」を

掲載して広く広報に努めている。

#### (4) 「ホームページ」

平成11年9月に開設した「ホームページ」へのアクセス数は平成14年度末には約18万件に達し関心の大きさを示している。

ホームページの活用については、広報委員会及びインフォメーション研究会を中心にホームページの充実とインターネットの活用のための具体的方策を検討し、内容の充実、刷新、改善に努めた。

#### (5) AOU案内の刷新

AOU活動を広くアピールするための資料「AOUのご案内」（パンフレット）を全面的に刷新し、AOUの事業目的、具体的な事業内容をより明確なものとした。

#### (6) ゲームセンター利用者調査

11月23日の3団体共催の「ゲームの日」の各種イベントと併せてゲームセンター利用者等を対象にアンケート調査を行い、約1万5000人からの回答を得てこれを「ゲームセンター利用者調査」（3団体調査）に取りまとめ、会員、関係機関、団体等に配布したほか、各種の懇談会、研修の場でゲームセンター利用者の実状紹介資料として活用した。

ちなみに、同資料は、業界内・外を通じて唯一の利用者についての調査資料である。

#### (7) アミューズメント産業界の実態調査

JAMMA及びNSAと共同して、遊技機メーカー及び施設営業者約1200社についての実態調査を（財）自由時間デザイン協会に委託し、その結果を「アミューズメント業界の実態調査」として資料化し、都道府県協会及び関係機関・団体等に配布した。

## 5 研修事業

### (1) 青少年指導員養成講座

AOU主催（共催（社）青少年育成国民会議）の青少年指導員養成講座を10月24日、25日の両日国立オリンピック記念青少年総合センター（東京）で開催し、地区協議会から推薦された95名が受講した。

同講座は、平成11年度に、従来、地区協議会持ち回りで実施していたものを地区協議会から推薦された者を対象に年1回東京で開催する方式に全面的に改め、爾来、共催の（社）青少年育成国民会議の全面的な協力も得て

カリキュラムを全面的に刷新し、（社）青少年育成国民会議が全国の青少年関係者を対象に行っている「青少年育成アドバイザー養成講座」（2年間の通信教育と3泊4日の集合研修）のAOU版を目ざす。

講座修了者には、AOUと国民会議連名の【AOU青少年アドバイザー

の証】を交付する。

将来的には地方公共団体等の青少年関係者に多い国民会議主催の講座を修了した【青少年育成アドバイザー】との積極的な連携、交流を目指す。という基本構想のもと、より本格的な青少年指導員養成のための講座を目指しているが、本年度は講習内容に改善を加えて、より充実したものとした。

## (2) 店舗管理者研修会

AOUと全国風俗環境浄化協会((財)全国防犯協会連合会)の共催による店舗管理者研修会を6地区協議会の主催で開催した。

研修会には、関係警察本部、環境浄化協会の協力支援を受けたほか、各地区協議会とも研修内容に創意工夫をこらし、従業員の資質、能力の向上、健全営業の推進の面で多大の成果を収めた。

## 6 AOUエキスポ2003の開催

平成15年2月21日、22日の両日、遊技機製造メーカー等の協力を得て、千葉市の「日本コンベンションセンター(幕張メッセ)」において、施設営業の営業者に適正な遊技設備を紹介する遊技機等の展示会(AOU2003アミューズメント・エキスポ)を開催した。

今回のエキスポ開催に当っては、昨年度に引き続き会期を金曜、土曜の両日開催とする。

1小間のスペースを3メートル×3メートルとする。

告知ポスターを作成し、これを全国の会員店舗に掲示して告知する。

会員店舗において「特別割引引換券」を配布する。

ホームページに「特別割引引換券」を掲載し、これに会員店舗が押印したものを会場に持参した場合にも割引料金で入場できる。

こととしたほか、

一般公開日における入場料を引き下げ、また、60歳以上及び小学生以下については無料とした。

ちなみに、出展は39社(昨年45社)出展小間数は635小間(昨年701小間)と昨年に比べてともに減少したが、来場者は1万5,153人(昨年1万4,920人)とわずかながら増加している。

一般入場者は4,035人で、昨年(3,696人)に比べて大幅に増加した。

また、今回はじめて入場無料とした小学生以下(746人)及び60歳以上(90人)の入場者は836人でファミリーでの来場が例年にも増して数多く見られた。

この中であって、会員店舗で配布した割引券を使用した入場者は697人(昨年915人)、ホームページに掲載した割引券を使用しての入場者は172人(昨年332人)と大幅な減少であった。

## 7 ゲームの日（地域社会奉仕活動とファン感謝活動）

### （１）「ゲームの日」（毎月２３日）

営業活性化対策の一環として、営業の存続基盤は「顧客」であるという原点に立った「ファンサービス」をより強力に推進することを目的に、平成１３年９月に創設したＡＯＵ独自の「ゲームの日」（毎月２３日）について、全国のＡＯＵ会員店舗が足並みをそろえて毎月２３日を中心に【ファン感謝のための各種のイベント】を強力に推進し、これを１１月２３日の三団体共催によるゲームの日とリンクさせながら定着させるため、「ＡＯＵニュース」において通年キャンペーンを行った。

### （３）第８回「ゲームの日」（３団体共催）

毎年ＪＡＭＭＡ、ＮＳＡとの３団体共催で行っている「ゲームの日」を本年度は第８回として例年の通り勤労感謝の日（１１月２３日）を中心に

アミューズメント・ラブエイド

ファン感謝活動

を２本の柱に、全国的な行事として設定し、広報ポスター５０００枚を作成するとともに新聞、週刊誌等でも広報して周知に努めた。

また会員５社の協賛を得て、１１月２３日東京駅八重洲口中央コンコースを会場に「国民の楽日」【ゲームの日・ＰＲステーション】と銘打ってコアイベントを開催したほか、記念グッズの作成、ゲームセンター利用者に対するアンケート調査等を行った。

また、都道府県協会においては、東京都協会が浅草花やしきで「アミューズメントふれあいフェスティバル」を開催したのをはじめ、北海道、山形、茨城、栃木、山梨、神奈川、静岡、広島、山口、福岡、長崎、大分、鹿児島各都道府県協会が、それぞれ創意をこらして地域社会への奉仕やファン感謝の意をこめた各種のイベント等を行った。

## 8 業界関係団体との連携

それぞれの団体の枠にとらわれずに業界の活性化対策を幅広く検討するため、ＪＡＭＭＡ及びＮＳＡと共同して、

３団体活性化特別委員会

ポイントマイレージ検討委員会

を設置し、業界活性化に向けての具体策等についての協議を行っている。

## 第２ 財政基盤の整備

1 業界を取り巻く環境がことのほか厳しく、ＡＯＵの財政基盤に深刻な事態を招来

する懸念が生じたことから、平成12年4月AOUの活動を将来に亘って安定的に継続することを目的に、「財政研究会」を設け、爾後同委員会を中心に財政基盤整備のための具体的な方策について検討を進めてきた。

2 平成13年6月、会長名文書「AOU財政基盤の整備について～会費の見直しと改定」によって全会員に対して問題を提起するとともに、基盤となる遊技機設置台数についての調査を行うなど慎重に検討を進めたうえ、平成14年1月に「財政基盤整備のための試案～会費改定試案」（AOU案）を策定してこれを公表した。

3 爾後、同案を軸に、

(1) 財政基盤整備検討会

各地区協議会ごとに財政基盤整備検討会を開催し、会長、財政研究会委員長等がそれぞれの地区協議会に出向いてこの問題に対する理解と協力を求めるとともに、加盟会員の忌憚のない意見・要望等を聴取した。

(2) 財政基盤整備に向けての懇談・検討会

改定案が施行された場合、大幅な負担増となる遊技機設置台数が2000台以上の準広域28社に呼びかけ、4月12日・同26日の2回に亘って懇談検討会を開催し、この問題に対する理解と協力を求めた。

等の活動を積極的に推進した。

4 11月6日開催した全国大会においては、テーマをこの問題一本にしぼった全体会議を開催し、関係者が一堂に会して協議したうえ同案の方向で会費の改定を行うことを次期通常総会に提案することを採択した。

### 第3 協会事務等

#### 1 総会

5月17日東京において通常総会を開催し、役員改選と平成13年度事業報告及び同収支決算、平成14年度事業計画及び同収支予算について審議し、決定した。

#### 2 理事会

(1) 4月23日東京において理事会を開催し、役員改選(案)及び平成13年度事業報告、同収支決算、平成14年度事業計画案及び同収支予算案について審議した。

(2) 5月17日新たに選任された理事による理事会を開催し、互選により会長、副会長等を選任した。

(3) 6月18日東京において理事会を開催し、平成14年度の事業推進計画、AOUの財政基盤の整備等の問題について審議した。

(4) 10月22日東京において理事会を開催し、上半期の事業概要、3団体共催の「ゲームの日」及び「AOU2003エキスポ」の開催要綱と作業進捗状況について報告するとともに、財政基盤の整備並びに下半期の事業計画等について審議

した。

- (5) 平成15年3月25日東京において理事会を開催し、平成14年度の事業及び決算見込みの概要を報告し、平成15年度事業計画案及び同収支予算案並びに財政基盤の整備のための会費改定案について審議した。
- (6) 平成15年4月22日東京において理事会を開催し、平成14年度事業報告及び同収支決算並びに通常総会提出議案について審議した。

### 3 運営委員会及び専門委員会

各種の事業を円滑に推進するために、運営委員会5回、政策委員会7回、その他の専門委員会（特定事項を協議する研究会を含む）18回の計30回開催し、それぞれ所管する諸問題について協議した。

### 4 都道府県協会長会議・全体会議

11月6日山梨県（石和町）において、全国大会と併せて都道府県協会長会議・全体会議を開催し、財政基盤整備のための会費改定案等当面の諸問題について協議した。

### 5 三団体幹部懇談会

7月4日、AOU, JAMMA, NSA3団体の幹部懇談会を開催し、当面の諸問題及び業界の活性化方策等について懇談協議した。

### 6 地区協議会、都道府県協会との連携

地区協議会、研修会及び地域懇談会に参加するなど、地区協議会、都道府県協会と密接な連携をとって事業の円滑な推進に努めた。

## 第4 関係機関、団体等

### 1 警察庁

- (1) 健全営業の推進をはじめ、AOU活動の全般について緊密な連携を保ち、AOU各般の事業が円滑に推進されるように努めた。
- (2) 7月30日、警察庁生活環境課の担当官をお招きしてAOUの諸活動についての検討・懇談会を開催した。

検討・懇談会には会長・副会長・運営委員会委員が出席し、AOU側からは健全営業に向けてのAOU活動の状況、AOU活動を推進する上での問題点等について率直な意見が述べられ、また、警察庁側からはAOU並びにAOUの活動に対する積極的な評価と、今後におけるAOUの活動に対する期待・要望等が寄せられる等、今後におけるAOUの運営並びに活動の大きな指針となった。
- (3) 平成15年3月31日、「民法」及び「国家公安委員会の所管に属する公益法人の設立及び監督に関する規則」に基づく警察庁生活環境課係官による立入検査を受けた。

#### 4 都道府県警察等

都道府県協会の運営及び組織の強化、健全な営業の徹底、店舗管理者研修、地域懇談会その他営業に関する諸問題の相談等について、必要の都度関係都道府県警察本部等と連絡を取り、AOUの各種の事業が円滑に推進されるように努めた。

また、各都道府県協会においては、都道府県警察をはじめ関係機関、団体等と連携してAOU活動及び青少年の非行防止、健全育成等についての地域活動を積極的に推進した。

#### 3 全国風俗環境浄化協会

全国風俗環境浄化協会・(財)全国防犯協会連合会とは、店舗管理者研修会等AOU活動各般について緊密な連携を図っている。

また、11月5日、全国風俗環境浄化協会の主催で開催された風俗環境浄化協会事業を担当する運営管理者(都道府県防犯協会の専務理事など)の全国会議に出席して、AOU並びに都道府県協会の活動状況を説明し、AOU活動に対する理解と相互の連携、強調を強く呼びかけた。

#### 4 (社)青少年育成国民会議

青少年育成国民会議とは、青少年指導員養成講座をはじめAOUの行っている各種の研修、地域懇談会等の場で緊密な連携を図っている。

なかでも、青少年指導員養成講座については全面的な協力、支援を受けており、今後の展開も視野に入れて、研修内容の刷新強化に向けてさらに連携を強化することとしている。

#### 5 青少年育成関係団体等との連携と協力

青少年の健全育成、風俗環境の浄化、住み良い安全な社会づくり等を目的とした諸活動を展開している「(社)青少年育成国民会議」、「全国風俗環境浄化協会、(財)全国防犯協会連合会」、「警察官友の会」と連携を強化するとともにそれぞれの団体の行う公益事業に事業協力しその活動を支援した。